

認定看護師の役割と活動

第2回 『緩和ケア認定看護師』

社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院

総合医療支援センター がん相談支援センター

けいら ちかこ
計良 千香子 様

令和2年9月掲載

現在、2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなる時代とされています。がん患者さんやそのご家族は、身体や気持ちのつらさを抱えながら日々を送っています。そのつらさを和らげるお手伝いをするのが緩和ケア認定看護師の役割です。

「緩和ケア」という言葉を耳にすると、「終末期」をイメージされる方が多いように思いますが、今はがんと診断された時から緩和ケアを行うことの重要性が言われています。診断時から痛みなどの症状がある場合には鎮痛剤の処方となされ、病名告知による気持ちの落ち込みには心理的支援が行われます。治療期には抗がん剤や放射線治療の副作用の予防や対処が必要となります。がんの診断時から緩和ケアを並行して行い、がん治療を支えるとともに常に苦痛の緩和を目指しています。

院内の活動としましては、緩和ケアチームの看護師として患者さ

んのケアを行ったり、スタッフからがん患者さんのケアに関する相談を受けたり、院内でのがん看護・緩和ケアに関する研修を企画・実施しています。また、がん相談支援業務も行っており、患者さんやご家族から相談を受けたり、ピアサポートの活動であるがんサロン・がんヨガの運営にも携わっています。がんサロンは、同じ病気を持つ仲間との語り合いの場となっており、病気のことや治療のことなどについて話をして仲間から元気をもらえる場となっています。がんヨガは、インストラクターもがんサバイバー（がんと診断された直後から治療中の人も含むすべての「がん体験者」のこと）であり、呼吸と笑顔をテーマに行っています。癒しの場であり仲間と会える場として機能しています。新型コロナウイルスの影響でどちらもお休みしていましたが、患者さんからの要望もあり、サロンに関しては7月から、ヨガに関しては8月から再開することといたしました。がん相談支援センターでは、どこの病院にかかっているかに関わらず相談することができます。実際、他院入院中の患者さんのご家族が相談にいらっしゃったこともありました。

地域での活動としましては、がん関連の認定看護師が参加している「道南がん看護研究会」にて、毎年5月に医療従事者向けに研修会を

開催し、多くの方に参加していただいております。研修会を継続していくことで、多くの方にがん看護についての知識を広め、それぞれの施設での実践につなげることを目的にしておりますが、残念ながら今年度は新型コロナウイルスの影響により開催できませんでした。

また、MOPN（南渡島地域包括緩和ケアネットワーク）の世話人としても活動しています。MOPNでは、市民の皆様向けに市民公開講座として、緩和ケアに関する最新的话题をお届けしています。しかし、こちらも新型コロナウイルスの影響により延期となっています。

市内にはたくさんの緩和ケアの仲間達が活動しておりますので、何かお困りの際はいつでもがん相談支援センターにお立ち寄りください。これからもよろしくお願いいたします。

●現在、道南ブロック内では下記の病院に在職しています●

市立函館病院・函館五稜郭病院・函館中央病院・国立病院機構

函館病院・函館協会病院・函館おしま病院・森病院